

高山驛飛み町

創刊号

皆様からの「地域や町並み」に関する身近なニュースや、ご意見、ご要望など、各保存会 会長様 までお寄せください。

連携して取り組む町並み保存 専門部会を設置

今年3月5日、市景観町並保存連合会（※1）が3つの専門部会を設置しました。



集まった部会員達=まちの博物館で

■会長あいさつ■

高山市景観町並保存連合会
会長 川上幸夫

高山の町並保存会の特徴は、二十保存会が特徴ある活動を続けられているところにあります。

しかし近年少子高齢化などによる空き家問題など、共通する課題が生まれています。そこで昨年9月に連合会理事による検討会を開催しました。その中で私が感じたことは、保存会連合会としての活動が少ないことや、保存活動の歴史や意義の周知不足でした。そのため今年3月に3つの専門部会を設置しました。

今後は、各保存会の伝統的な取り組みを大切にしながらも、連合会としての活動を広げていきたいと考えています。

またもう一方の課題である、建物修理をする「伝統技術の継承者不足」も深刻です。技術が失われると町

並みを保存できません。これは高山市など、行政にもご協力をお願いする必要があるありますが、私たち所有者も家屋修理などの時にしっかりと考えることが必要だと思います。

町並みの保存には、住み続けられる環境と、維持する技術の両方を残していくことが不可欠です。

これを機に、専門部会の皆さんをはじめ保存会員の皆さんの議論が高まり、新しい活動が生まれてくることを願いまして、創刊のご挨拶いたします。



■副会長あいさつ■

高山市景観町並保存連合会
副会長 大野二郎

私達の住む「高山」は、豊かな伝統文化によって生かされている「歴史的文化都市」と言えます。

しかし今日、時代の急激な変化と共に価値観も変わり、自分たちの生活や経済効果ばかりを優先してしまうことで、伝統文化がどんどん衰退し次世代まで受け継がれないかもしれないという危機に直面しております。

そこでこの度、当連合会を単なる保存会同士の交流の場として終わらせない為、「行動する連合会」として、町中の生活を通じて町並景観の維持保存を検討・推進していくこととなりました。

江戸時代より現代までの激動の時代を経てこの町家群を守ってきたことはとても意義のあることで、町そのものが歴史の生き証人でもあります。

伝統文化の活性化を目指す高山市景観町並保存連合会の将来に向けた取り組みに、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



お寄せいただきましたご意見などは、編集して本誌等でご紹介させていただきます。取り扱いには、十分注意します。掲載にあたっては、

3つの専門部会

設置された専門部会をご紹介します。各保存会から1〜2名選出された総勢33名の専門部会員が、「町並み保存部会・広報部会・子供伝承部会」に分かれ互いに連携しながら活動します。以下、「部会名・活動の概要・部会長の氏名と所属保存会・あいさつ・構成部会員氏名と所属保存会」。

※町並み保存会は「町保」景観保存会は「景保」と略して表記

■町並み保存部会

町並み保存のルール作りや市に対する要望を行う

■部会長あいさつ

部会長 松之本 映一さん
船鉾台組町保

高山市景観町並み保存連合会から、専門部会の発足に向けて様々な協力を依頼されました。第1回目の会合の時、この部会の主旨と目的に関する質疑から、この部会の位置付けを考えさせられました。やがて部会員の皆さんからの意見に耳を傾けるうちに、少しずつ進む道が開けた気がしました。住民の少子高齢化が進んでいる問題、町内での空き家問題、

新しい人が入ってきてても町内行事には参加せず、景観を気にせず家を建てたり直したりすることなど、様々な問題が浮上しています。高山は、伝統ある町並み、屋台が曳行される春・秋の高山祭など、この先ずっと残しておきたいものが沢山ある町です。住み易くて落ち着きがあり、親切で温かみがあるのが高山らしさだと感じています。高山へ観光に訪れる人たちが、我々の子孫のために、景観保存のルールづくりのお手伝いができる部会を目指したいと思っています。



- 副部会長 大野 雅之 上三之町町保
- 部会員
- | | |
|--------|----------|
| 西山 秀三 | 東山景保 |
| 松山 純子 | 上二之町町保 |
| 平田 邦彦 | 上二之町町保 |
| 三川 洋史 | 上三之町町保 |
| 長瀬 公昭 | 上三之町町保 |
| 高野 登喜雄 | 下三之町中組景保 |
| 中野 壽夫 | 片原町景保 |
| 大村 和弘 | 片原町景保 |

■広報部会

伝建地区や景観保存区域の取り組み・高山の町並みの素晴らしさを、市内・外に広く発信する

■部会長あいさつ

部会長 久田 昭雄さん
恵比須台組町保

この度、町並み保存部会・子供伝承部会と共に、広報部会を立ち上げる事となりました。私自身といえば、パソコンはおろか携帯のメールさえ打った事もないくらいで、この役には最も不似合いな人選ではないかと恐縮しますが、幸いにも優秀な7名の部員に恵まれ、ここに創刊号を発行する運びとなりました。今後はさらに広く、高山の町並み景観の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。また各部会や各保存会の取組み・行事などをお知らせしながら、

町並み保存の歴史や、ミニ知識などをわかり易くお伝えしたいと思っています。高山の美しい町並を今後も維持・保存していく上で、広報部会が少しでもお役に立てるように、部会員と一丸となって、頑張ってまいります。



- 副部会長 橋本 大 八幡町景保
- 部会員
- | | |
|--------|----------|
| 川上 喜八郎 | 神明町景保 |
| 道上 清孝 | 豊明台組町保 |
| 大井 啓二 | 下三之町中組景保 |
| 川上 淳平 | 神馬台組町保 |
| 大屋 文雄 | 浦島台組町保 |
| 光賀 隆之 | 宝珠台組景保 |
- (8名)

■子供伝承部会

子ども達と共に郷土の歴史を学び、次世代にも町並み保存に関心を持ってもらえるよう、積極的に学校に関わる

子供伝承部会/長澤直彦さん「部会に参加することで、私自身がまちなみ保存に対する意識を高め、知識を深めていきたいと思っています」三塚泰俊さん「それぞれの保存会の素晴らしさを自分で勉強することが大切だと思いますし、その上で高山の町並み、文化等を後世に残すためにも、子供達にうまく伝える手段を皆さまで一緒に考えてゆきたいと思っています」広報部会/川上淳平さん「景観を保存することは、漠然と意義あること、次世代へ継承する使命だとは感じますが、具体的にどうすることでこういったメリットがあるのか訊ねられても答えられそうにありません。この機会に諸先輩方に教えをいただき、また自らも勉強させていただきながら、お手伝いさせていただけたらと思います。

本誌は、市景観町並み保存連合会の会員様にお配りしておりますが、町並み保存の活動を広く内外に発信するため、様々な方に手に取っていただけるような店頭や休憩所といった場所への設置を望んでおります。

■ 部会長あいさつ ■

部会長 宮川 暁声さん

寺内景保

子供伝承部会は、これからの高山市を担う子ども達に、町並みの保存と、町に生活する楽しさを知ってもらう事を目的として立ち上げました。

町並み保存地区で暮らす私達には、様々な規制があります。しかし、美しい高山の個性を維持していくための約束事として保存運動を活性化していくことは、住みやすい町並みを作ることにも繋がると思います。

今後、専門部会としてのどのような関わり方ができるのか、一つ一つアイデアを出していきたいと思えます。第1回目の会議では、私達大人も楽しめる様な行事ならば、子ども達にも楽しんで参加してもらえらるだろうという、基本方針を確認しました。



副部会長

長澤 直彦 上三之町大町会景保

部会員

三塚 泰俊 東山景保

住 隆 恵比須台組町保

倉坪 哲也 上三之町上町保

古川 洋一 鳩峯車台組町保

瓜田 睦 大新町1丁目3班

田中 秀明 下三之町上組景保

堰 美鶴 宝珠台組景保

(9名)

▶ 景観町並保存とは

歴史資産を残しながら、住み続ける

そもそも、景観町並保存とはどのような取り組みなのでしょうか？

歴史ある建造物や生活痕を後世に残すならば、隔離して管理する方法が現実です。しかし、そのようなテーマパーク型ではなく、そこに「人が住み続けるままに」残すことにこそ意義があります。

高度成長期の合理性・経済性優先の開発や近代化によって損なわれた「高山ならではの魅力」を再生させ維持し、併せて住民の生活環境を整備すること。古いものを残すだけではなく、きれいで安心・安全な町を併せて創ることが要なのです。

「町並み」すなわち「連続し

て建ち並ぶ景観」であるというところがポイントです。その上で、建物の高さや材質、色・構造など、ある程度の基準を設ける必要性があるわけです。

また、建物が連続している以上、地震による倒壊・火災による延焼に対する防災対策の充実是不可欠です。

現在進行形で人が住み、商売が行なわれ、人や車が行き交う地区におけるそのような取り組みの前に立ちはだかる問題は、決して少なくありません。

保存する事によって、そこに住む人たちが著しく暮らし難くなったたり、周辺の人たちの交通などに悪影響が及ぶようでは、景観町並保存の意に反してしまっています。

連携した取り組みが不可欠

その歴史は様々ですが、世界的に景観保存の取り組みは活発です。伝統的な建物の再生や、電線の地中化などの町並み整備によって、観光客を増加させ経済効果を挙げたという地域もあります。

高山にとって、観光資源となりうる町並みは貴重な宝です。

▶ 脱・地域限定

高山全体の感心事として
たくさんの方の関心を

当該地域の空き家が増加する一方で、郊外には団地が増え人が増えています。

「旦那衆の町」と呼ばれ、「格式高い区域」とされる一方で、行事の多さや大変さ・生活面での制限に対して「住みにくい区域」というイメージをお持ちの方が多くことも紛れもない事実です。

そのようなマイナス要因にまざる魅力を、区域内・外に発信することが重要でしょう。

また、あらゆる取り組みそのものをも、舞台裏として隠してしまわずあらわにすることが、実は観る人にとっては興味深いのかも知れません。

本誌が、それらの情報発信に一役買っ出て出ることが出来たら本望です。

部会員の意気込み

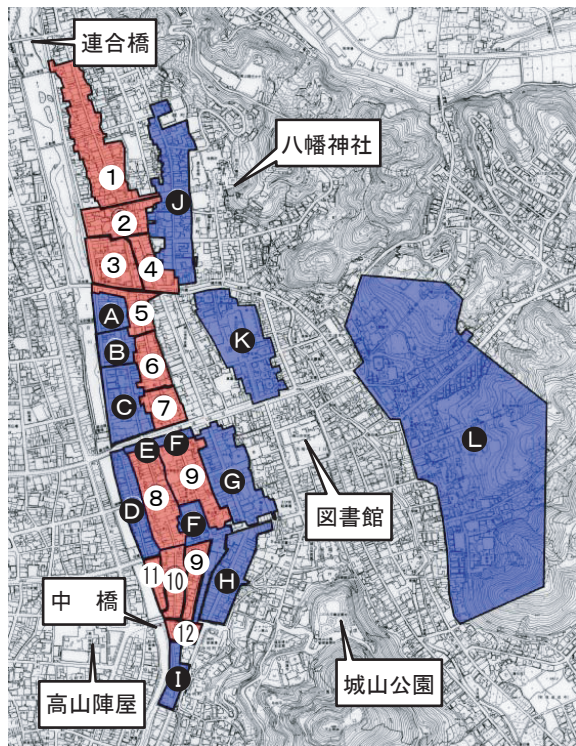
町並保存部会/大野雅之さん「観光客の方々からも市民の方々からも注目される上三之町で商売をして生活していきたいと思っています。上三之町を通っていただく多くの方々の生の声をいかした、町並保存を考えていきたいと思っています」西秀三さん「この美しい町を後世に少しも変わらずこのまま残していきたいと思っています。それにはどうしたらよいか考えてみようと思います」鳩谷幸一さん「多くの観光客が来高され、それによって私たちが暮らしていける町であるとする時、高山の町並保存はいまだ市民の理解を得られず、いくつもの難しい課題を抱えています。諦めず、町並を整備することが次の世代に立派な高山を残す唯一の道であると信じています。

高山市の伝建地区・景観保存地区の保存会

高山市景観町並保存連合会は、高山市市街地景観保存区域の12の景観保存会と、高山市伝統的建造物群保存地区の12の町並保存会によって組織されています。各保存会が協調して、地域内の景観

・町並の保全整備を図り、より良い環境保存を通して、地域文化の向上につとめることが目的とれています。各保存会は左の地図の通りです。

ここでは各号、2～3保存会をランダムにご紹介します。



伝建地区の保存会

- ①越中街道 町保
- ②大新町1丁目3班 町保
- ③豊明台組 町保
- ④浦島台組 町保
- ⑤船鉾台組 町保
- ⑥神馬台組 町保
- ⑦鳩峯車台組 町保
- ⑧上三之町 町保
- ⑨上二之町 町保
- ⑩恵比須台組 町保
- ⑪片原町 町保
- ⑫神明町 景保

景観保存区域の保存会

- Ⓐ宝珠台組 景保
- Ⓑ下三之町中組 景保
- Ⓒ下三之町上組 景保
- Ⓓ片原町 町保
- Ⓔ上三之町 町保
- Ⓕ上二之町 町保
- Ⓖ上一之町大町会景保
- Ⓗ上一之町上町保
- ①神明町 景保
- Ⓙ八幡町 景保
- Ⓚ寺内 景保
- Ⓛ東山 景保



保存会名：神明町景観保存会（地図Ⅰ、⑫）

保存会長：川上 喜八郎(かわかみ きはちろう)さん

会 員 数：11軒（麺類3軒・料亭1軒・居酒屋1軒を含む）

該当町内：神明町4丁目

主な目印：赤い中橋・保存樹「しだれ柳」・料亭「洲さき」
・横丁のギャラリー

主な行事：保存会主催「花見の会(4月)」
・町内会主催「納涼会(7または8月)」

会の実績：月1回の区域清掃と樹木手入れ・町内会主催「防火訓練」
・消火器点検

保存会名：東山景観保存会（地図Ⅰ）

保存会長：田中 玄恵(たなか げんえ)さん

会 員 数：119軒（2社・10ヶ寺を含む）

該当町内：宗猷寺町・天性寺町・愛宕町・若達町

主な目印：東山寺社群 久昌寺・雲龍寺・栄鏡院・大雄寺
・洞雲院・素玄寺・天照寺・法華寺・
善応寺・宗猷寺・白山神社・神明神社

主な行事：5月5日 白山神社と神明神社(愛宕神社含む)例祭
・東山寺院にて各種法要

会の実績：H22.1.26 文化財建造物消防訓練(大雄寺にて)

・例年の防災訓練・消火器の設置・毎年10月視察研修旅行

